

第46回 地盤工学研究発表会 特別セッション

地下建設工事においてトラブルが発生しやすい地盤の特性とその対応技術

日時：2011年7月5日(火) 午後Ⅲ 17:00~18:30

会場：第13会場 (神戸商工会議所 第3会議室)

座長：橋本 正 (地域地盤環境研究所)

参加費：無料

地下建設工事において近年に見られるトラブル事例は、均等係数の小さい細砂や大礫などの限定された地盤で発生することが多い。このような傾向は、関西だけではなく、名古屋や東京のように濃尾平野や関東平野などの低平地にできた都市や、中国上海や台湾の沿岸部などの都市、オランダやイギリスなど類似した土質特性を有する都市においても同様に見られる。

日本では、近年、建設投資の減少により、大規模工事や難工事の計画、設計、施工をおこなう機会が少なくなっているため、技術力の維持および伝承が課題となっている。また、日本におけるトラブルサム地盤での貴重かつ豊富な経験に基づいて、建設工事が盛んなアジアを始め世界に情報を発信し、技術的な助言や海外プロジェクトへの参画が重要と考えられる。

本特別セッションでは、多くのトラブルサム地盤における地下建設工事のトラブル事例を紹介し、問題となる地盤の堆積環境や物性などの地質的および土質的アプローチの可能性やこれらの因果関係や有効的な対策(リスクマネージメント)について討議をおこなう。

17:00~17:10	(10分)	開会挨拶	橋本 正 (地域地盤環境研究所)
17:10~17:40	(30分)	トラブル事例の紹介	
17:10~17:25	(15分)	シールド事例	塩谷智弘 (大阪市交通局)
17:25~17:40	(15分)	開削事例	長山喜則 (西日本旅客鉄道)
17:40~17:50	(10分)	地盤特性から見たトラブル事例の分析	
			三村 衛 (京都大学)
17:50~18:00	(10分)	トラブルサム地盤に対するリスクマネージメント	
			北岡隆司 (大林組)
18:00~18:20	(20分)	フロアーディスカッション	
18:20~18:30	(10分)	総括および今後の展望	木村 亮 (京都大学)

【地盤工学会関西支部 地下建設工事においてトラブルが発生しやすい地盤の特性とその対応技術に関する研究委員会 (トラブルサム地盤研究委員会) (委員：57名(海外特別委員3名含む)：平成23年7月現在)】

